

喝破だより

# 四恩の里

## 喝破五訓

- 一、よろこんで与える人間となろう
- 一、いのちを大切に作る人間となろう
- 一、心静かに考える人間となろう
- 一、使命に生きる人間となろう
- 一、規律ある幸せ喜ぶ人間となろう

発行 公益財団法人 喝破道場 社会福祉法人 四恩の里 宗教法人 報四恩精舎 発行者 野田 大燈  
 住所 〒761-8004 高松市中山町1501番地9 TEL 087-882-4022 FAX 087-881-5906 一部500円  
 E-mail kappa@kappa.or.jp URL https://www.kappa.or.jp 郵便振替口座 徳島 01630-6-9731

### 巻頭言

天命に生きる

— サヌカイト「天眼の巖」 —



— 1350万年の眠りから覚めた「天眼の巖」 —

コロナ下の明けきらぬ梅雨空に心重  
 たき日々かとお見舞い申し上げます。  
 「天命」と申しますが、私は齢七五  
 歳にして改めてその意味の深さに戦  
 慄すら覚えています。  
 私の亡父家族は戦前の中国で生ま  
 れ育ち、そして敗戦とともに帰還し  
 て母の故郷である香川県に住まうよ  
 うになりました。  
 しかし中国大陸で伸び伸びと生活  
 していた父には狭い町中の生活は苦  
 痛のようでした。  
 そして父は当時募集していた人里  
 離れた開拓地の入植に応募し、海抜  
 400mの過酷な五色台で生活する  
 こととなったようです。  
 農業体験など全くない両親の辛苦

の程は計り知れませんが、父は貧困  
 の中にも常に前向きでした。  
 樹木を伐採して農地を作り、畑を  
 耕して大根の種を播いても地力も肥  
 料もないので人参のようなものに  
 成長しないのです。  
 折角耕した畑には鋭い角の石がゴ  
 ロゴロしていました。  
 さつま芋やジャガ芋の収穫時には  
 その鋭い石で指を怪我してしまうの  
 です。  
 その嫌でたまらなかつた石が硬度  
 七の「サヌカイト」で私は悪魔の石  
 と呼んでました。  
 父が病で他界し、家族は土地の大  
 半を処分して離農し、市内で生活す  
 るようになりました。  
 私はその後仏縁に依って出家し、仲  
 間たちと修行に励みましたが法要・  
 葬儀が主流の寺院のあり様に疑念が  
 生じ、禅の原点である自給自足の共  
 同体を志向していました。  
 そして父が遺した売れ残った少し  
 ばかりのこの地に戻って禅道場建立  
 を発願しました。  
 自給自足が基本でしたので、改め  
 て悪魔の石との戦いになりました  
 が、ある時にアルコール依存症の遍  
 路さんが立ち寄り、その後彼は私の  
 弟子になりました。  
 彼が「お師匠さま、このサヌカイ  
 トで茶碗を作らせて下さい」とのこ  
 と。この硬度七の悪魔の石をくり抜  
 いて茶碗にするのか、と不審に思っ  
 てはいましたが、約一カ月後に「完  
 成しました」とのこと。

その茶碗はサヌカイトを微粉末に  
 して粘土と練り合わせた陶器でした。  
 完成した茶碗は歪ではありませんた  
 が、何気なく叩くと「カーン」と言  
 うサヌカイト特有の音色が広がりま  
 した。  
 この事が契機となり、現在は様々  
 な打楽器を製造しています。  
 先般、某国の国立鉱物博物館から  
 二トン程のサヌカイト原石の購入依  
 頼がありました。  
 道場の山林に入ってみますと、大  
 きな塊のサヌカイトが数個あり、そ  
 の一つに「目」の形の傷があるもの  
 がありました。  
 一三五〇万年前の瀬戸内海での噴火  
 に依って生じた溶岩です。  
 私はこの「目」に魅入られて雷に  
 でも打たれたような感覚に襲われま  
 した。  
 ああ、私の父はこのサヌカイトに  
 呼ばれて中国からこの地に入り、そ  
 して私は出家して改めてこの地に戻  
 り、父には孫に当たる我が息子と三  
 代に亘って世界でも稀有なサヌカイ  
 トに関わっているのは、サヌカイト  
 を使って世界に貢献せよ、と言う事  
 だと確信しました。  
 その後は不思議な庇護を得て数ヶ  
 月後の六月初旬には「天眼の巖」と  
 命名されて遷座安置されました。  
 人には夫々の天命が課せられてい  
 ると言う事に気付かされた出来事だ  
 した。

— 大燈記 —

自立塾（一七七）

― 梅雨空のなか ―

お誕生日と卒業

十五日で二十二歳の誕生日を迎えた塾生のFさんと十六日が卒業のHさんの為に、十五日はささやかながら皆でお祝いしました。



皆でお祝いしました

二十二歳の誕生日という貴重な時間を自立塾で過ごした思い出は一生忘れる事は無く、つまづいた時や挫けそうな時に、自立塾で頑張った二十二歳の頃を思い出すでしょう。後少しの自立塾での生活を大切に取組んでもらいたいです。  
Hさんは十六日から新しい生活が始まります。自立塾の活動のなかで気づいた自分の長所短所を自覚し、新たな環境でも邁進してもらいたいです。

お祝いをした他の塾生にとっても帯を締めなおす事のできた、ささやかなお祝いとなりました。

梅の収穫

十八日に梅の収穫をしました。自立塾では五本の梅の木を育てていますが、今年は豊作で沢山実つていきます。塾生の皆とボランティアの皆さんと総出で一粒一粒手で収穫しました。大勢での収穫だったので二時間ぐらいで採り終えましたが、総重量はなんと87kgとまさに豊作でした。



豊作の梅

収穫した梅は毎朝食べている梅干と、作業の休憩で飲む梅ジュース用に使います。梅干は毎朝必ず一人一個食べます。十人が食べたら一年で三千六百五十個必要になります。梅ジュースは夏場の夏バテ防止ドリンクとして重宝します。

梅ジュースは収穫後はヘタを取って氷砂糖に漬けます。梅干しは青梅から少し黄色に熟し完熟梅になるまで待つてから塩で漬けて込みます。今年は減塩の10%で漬けて込みました。今後は一ヶ月後の梅雨明けに天日干し、赤紫蘇を入れて本漬けと作業工程は多いです。減塩で漬けて込んだのでカビが発生しないか心配ですが、美味しい梅干を作りたいです。

唐辛子の植え付け

二十五日に香川本鷹唐辛子の苗の植え付けを行ないました。今年は種まきの時期を失敗したのか、早い梅雨入りが影響したのか、なかなか発芽せず何度か蒔きなおしをおこなって何とか約九百苗を育てることができました。



植え付け前の苗

一ヶ月遅れの植え付けとなりましたが、沢山実をつけてくれることを期待して育てたいと思います。

頑張れ!! 『自立塾』 私達も応援しています。

ぜいへん  
蛻変の経営  
大坂塾



<http://www.osaka-juku.com/>

本社オフィス  
東京都江東区有明1-4-11-3217  
TEL/050-5505-1006

香川オフィス  
香川県高松市番町4-2-19  
TEL/087-863-6888

『喝破道場』

私達も応援しています!



株式会社ギフトグッズ

香川県高松市六条町1205-1

Gift Goods

TEL 087-814-4990

株式会社 ギフトグッズ

FAX 087-814-4991

新しい世界を楽しもう

## ハーブ園便り

ハーブの最盛期は六〜七月で様々な花が咲き誇り色賑やかになる季節です。五色台ハーブ園は百品種以上育てていたガーデンを取り壊した為、少し寂しい七月になりましたが、ローズマリーの新芽が伸びハーブ園は青々としてきました。

ハーブ苗の植え付け時期でもある六月上旬に『レモングラス』『レモンバーベナ』『ホーリーバジル』の植え付けを行いました。この三種は近年人気の有るハーブでお客様からの注文も増えていきます。



ハーブティーで楽しんだり、アロマとして活用したりと様々です。

ホーリーバジルはウサギにも人気があるようで、葉っぱを食べるにやってきます。昨年育てたホーリーバジ

ルの大半は野ウサギに食べられてしまいました。ホーリーバジルの周辺にはミントやカモミール、レモングラス、レモンバーベナ、そして唐辛子も育てていますが、ウサギの被害にあうのはホーリーバジルだけです。バジルのスパイシーな香りに少し甘い香りが混じったホーリーバジルはウサギの好物なのだと分かりました。今年にはウサギさんに食べられないよう侵入を防ぐネットを張って対策します。

### 記事掲載されました♪

高松市の地元情報紙『リビングたかまつ』の6月18日発行に『五味とうがらし』が掲載されました。

編集スタッフが、昔から愛用しているロングセラーやお気に入り最新グッズ、好きな本など、個人的なおすすを紹介するコーナー『ワタシ的三ツ星』で掲載されました。

【激辛が苦手な私も、夏になるとピリツとパンチの利いた料理が食べたくなります。そんな折、タイムリーに出会ったのが、辛味のキングオブキングス「香川本鷹」を使った「五色味とうがらし」です。入っているのは、五色台で農薬や除草剤を使わずに育てた「香川本鷹」に、五色台産「ローズマリー」「カモミール」「陳皮(みかん)の皮を乾燥させたもの」。「瀬戸内産

のり」の5種類の材料。口の中でフワツと広がるハーブの香りとパンチの利いた辛みは和にも洋にもマッチしますが、私のイチオシは「みそ汁」と「焼き鳥」。びっくるするくらいに深みが出ますよ。天然ハーブは優しい香りなので、匂いや味の濃い料理よりも、シンプルな料理の方が合うみたいです。一味や七味、激辛タイプなどバリエーションも豊富。

販売は「さぬきマルシェ」(高松市鶴市町一〇一〇)ほか。【という記事でした。

**ワタシ的三ツ星**

編集スタッフが、昔から愛用しているロングセラーやお気に入りの最新グッズ、好きな本...など、個人的なおすすを紹介するコーナーです

激辛は苦手な私も、夏になるとピリツとパンチの利いた料理が食べたくなります。そんな折、タイムリーに出会ったのが、辛味のキングオブキングス「香川本鷹」を使った「五色味とうがらし」です。

入っているのは、五色台で農薬や除草剤を使わずに育てた「香川本鷹」に、五色台産「ローズマリー」「カモミール」「陳皮(みかん)の皮を乾燥させたもの」「瀬戸内産のり」の5種類の材料。口の中でフワツと広がるハーブの香りとパンチの利いた辛味は和にも洋にもマッチしますが、私のイチオシは「みそ汁」と「焼き鳥」。びっくるするくらいに深みが出ますよ。天然ハーブは優しい香りなので、匂いや味の濃い料理よりも、シンプルな料理の方が合うみたいです。一味や七味、激辛タイプなどバリエーションも豊富。販売は「さぬきマルシェ」(高松市鶴市町1010-1)ほか。(R)

一振りですべての辛味と風味がググッと広がる

瀬戸内ハーブ入り  
五色味とうがらし

13g540円

問い合わせ  
鳴越道場 五色台ハーブ園  
高松市山町1501-157  
☎087(813)2157

『五色味とうがらし』はハーブ園のおすすめイチオシ商品です。たまに購入した五色味とうがらしが編集スタッフのお気に入りとなり記事になるとは本当に嬉しく、商品が独り立ちしたようで感無量です。今後自信を持って販売していきたいです♪

+ 私達も応援しています。『自立塾』 +

**人と企業を結んで32年!**

新聞折込 **求人タイムス** Human Network

**主要全国紙にて絶賛折込中**  
朝日・読売・毎日・日経・産経・愛媛

株式会社 **求人タイムス社**

本社/観音寺市本大町1541-3  
TEL (0875) 25-0404  
<http://www.kyujin-times.net>

『自立塾』  
私達も応援しております。

キッチン・バス・トイレ・増改築・ボイラー工事  
四国ガスショップ・四国電力認定店  
高松市上下水道工事指定工事店

**廣瀬** 住宅総合サービス

(本社) 高松市末広町6番地9  
☎822-5478代 ☎0120-512677  
(尾山店) ☎861-3187



企業研修

「喝破道場の研修に参加して」

今回、S社の新入社員の一貫として、喝破道場で研修した。

事前に会社の方からは、坐禅を組まされるとか、ハーブを収穫するという断片的な情報だけ聞かされていた。実際に入山して、坐禅作法についてのDVDを鑑賞した。

よく坐禅に際して「無心になる」といったことが素人的に言われるが、実際はそうではなかった。心に様々なことが思い浮かぶけれども、それらに捉われたり執着しようとせず、そのまま流すことが心の状態を整えることにつながると分かった。

二日間通じて、最も驚いたのは、食事作法である。食事後に、器にお茶入れ、それをたくあんで拭きとるのである。

食事は美味しかったけれども、酢の物の残り酢や、煮物の残り汁が合わさったお茶は、お世辞にも良い味とは言えない。嫌いな梅干も、これも修行と思つて食べた。

しかしながら、実生活で異文化と遭遇することは少なからずある。転勤・部署移動で環境が変わることもあるし、取引先のうち特殊な

文化があるかもしれない。そういうときに、異文化に自分自身が適応する、あるいは妥協点をみつけるようになることは、とても大切だと思つた。

もしこれが会社の命令でなく、自主的な修行ならば、このような戸惑いもなかっただろうから、意味は半減していただろう。

農作業として、ハーブの選別、パック詰め、またカモミールの収穫を行った。良い香りのするカモミールも、収穫にはとても苦労がある。花についている虫は払えばどいてくれるが、茎やがくについているアブラムシの処理には困らされた。

実際に坐禅を組んだ体験は良かった。坐蒲を使うということを知ったし、自重で足がしびれない工夫があった。しかしながら、はじめは組み方が下手で、四十五分後には足が全く動かない酷い状態になっていた。半跏趺坐でもだ。

二回目にはしびれにくい組み方ができ、指導者のもとで取り組むことの効用を感じることができた。

仏教は先達なしでやるべきではないというが、何事も良い指導者の存在はありがたかった。

二日間、喝破道場の皆様には大変お世話になりました。ここで学んだことを活かせるように頑張ります。

S社 M・A



企業研修

「規律研修を通して」

平日頃はパソコンに向かつて一人で仕事を行っていきますので(リモートワーク)大勢の方々と一緒に同じことを取り組む事が新鮮に思いました。初めての坐禅は足が痛く、心を空にすることが難しいと感じましたし、写経も仕事で素早く書くクセが表れているようで自分を見つめ直す良いキッカケになったと思います。

精進料理の美味しさに感動し、一かみ一かみ味の変化におどろきました。それ以外にも遍路や農作業を通して空の青さ、土の香り、風の心地良さ、一杯のお茶の美味しさが身体のすみずみまで行き渡りました。

母方の親族が曹洞宗という事を聞いておりましたが、どの様な宗教なのか全く分かってなく、私自身は無宗教で行こうと決めてましたが、全ては分からずとも日々の生活の中で、この日の体験を通して感じた事を何かしら活かして参りたいと存じます。本日はありがとうございました。

D社 K・S



禅スパイス

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦

①②③⑤⑥ 各540円(税込) ④ 702円(税込) ⑦ 378円(税込)

※8本まで送料全国一律料金 520円 (簡易包装 レターパック便)

- ③ 激辛一味  
黄とうがらしを使用  
辛さをお求めの方はぜひこちら
- 辛さレベル ★★★★★
- ① 赤一味  
上品な香りと辛さが魅力の赤唐辛子
- 辛さレベル ★★★★★
- ② 青一味：赤色に熟成する前の唐辛子
- 辛さレベル ★★★★★
- ④ 三色一味：赤青黄をブレンド
- ⑤ 五色味とうがらし  
香りの豊かさはどこにも負けません
- ↑プ入り唐辛子
- ⑥ 七味とうがらし  
比べてみてください 風味が違います
- ↑プ入り塩
- ⑦ ↑プ&ソルト：絶品です

### へ 虫小学校の父兄会

安部麗子

古いお屋敷のレンガ塀の内側に、虫の街があります。昔はきれいだっただお庭ですが、今はあれ放題で、それこそ虫達の天国です。

今日は虫小学校の父兄会です。池のほとりの腐りかけたあずまやが、この学校の講堂です。ささくれた木のテーブルの上に、金づちが一本置き忘れてあります。その上で、玉虫の厨子袈裟男校長の挨拶が始まります。

この方は、遠く長野県の大きな寺から赴任してきたのです。話は長たらしく、父兄達は我慢できなくて、ヒソヒソおしゃべりを始めます。

ヒソヒソ声は、やがておかまいなしのペチャクチャになり、ケラケラ笑っている者さえいます。

おとなしくしている者もいますが、それは眠っているからです。

長い長い校長の挨拶が終わると、教頭のコメツキムシ、機田米子先生が、シヤクトリムシと背筋をのびします。

「本日は、このあと、各教室の授業風景をみていただきますが、その前に二つお知らせがあります。」

その一。来月度より、給食費を、花粉0.1グラム値上げします」

たちまち反対反対の大騒ぎです。

給食のおばさんの、ハチの甘田ミツさんが、申し訳無さそうに頭を下げ、「お世話になりました」と言ったの

で、父兄達は慌てて引き止め、0.1グラムの値上げを承知します。

ここで給食をやめられては、自分達でお弁当を作らなければならぬと気付いたからです。

「その二」と機田先生が続けます。

「これから毎年学校行事として、六月四日に虫祭りをを行います」

ワイワイガヤガヤが始まります。

「祭りと言えはお囃子だね」

「それと踊り。サンバがいいわ」

「カラオケ大会もね」

「当然おみこしも」

ガヤガヤと果てしもなくありません。校長先生が、再び金づちの上に取り上げます。

「祭りとは、そもそも何でしょうか。」

それは大地の恵みと御先祖さまに感謝し、生かされてあることの喜びを確かめあう事なのです。この基本を忘れてはなりませんぞ」

シーンとなり、いきなりブーイングが始まります。

「宗教を押し付けるのですか?」

「給食の前に合掌させてるそうですわね」

「感謝することは奴隷になることよ」

「子供達に負け犬になれと?」

「宗教は阿片です!」

「そうとも。神は死んだ!」

校長先生は悲しそうに首を振っています。が、とつとつ気絶してしまします。

蠅の校医、御手洗潔先生がツンツン脈をとり、蚊の看護士、小針ツネ子さんが注射をします。校長先生はすぐに気がつき、「みなさんを教室に」と言いながら、フラフラ歩き始めます。

用務員のカブトムシ、土方鉄也さんが、すかさず背中を差し出します。

生け垣にビッシリと巣くっているのは、アメリカシロヒトリのクラスです。ハキリバチの片切ぬい先生が、手芸を教えているところです。生徒達は、黙ってレエスをあんでいきます。教室は、とても静かです。父兄達はあくびをしたり居眠りしたり、ヒソヒソおしゃべりします。ヒソヒソはだんだん大声になり、笑い声や怒鳴り声に変わります。機田教頭は、あわてて次のクラスに誘導します。

植木鉢の底のダンゴムシクラスでは、シヤクトリムシの手計(タバカリ)数馬先生が、算数を教えています。

生徒達は、一所懸命に方程式を解いたり、図形を証明していますが、ここでも父兄達はじっとしていることが出来ません。

機田教頭は、他の教室は、次々と駆け足で案内する事にきめました。紅葉の枝で、キリギリスの芦田卓人先生が、カマキリの子供達にヴァイオリンを教えています。

ドウダンツツジの上で、蝶の春野ウララ先生が、クモの子供達にダンスを教えています。

ユスラウメの枝では、アブラムシの子供達がビッシリと並んで、アリのモハメッド先生に、料理を教わっています。草むらで、カエルの越塚高志先生が、バツタの子供達に体育を教えています。

池で、オタマジャクシ達に水泳を教えているのは、ミズスマシの小早川澄夫先生です。

授業参観が終わり、講堂に戻った校長先生は、ブルブル羽を震わせたかと思ふと、さよならも言わずにブーンと飛び立ってしまいました。虹色の羽が、ピカピカ輝いています。

それを見た機田教頭も、小さな羽を震わせて後を追います。

芦田先生は、緑色の羽を風車のようにきらめかせます。

春野先生が、優雅に後を追います。御手洗ドクターと小針看護士も、手に手をとって旅立ちます。

甘田ミツさんは、シヤクトリムシの手計先生を抱えています。

カエルの越塚先生が土方鉄也さんの背中にしがみつき、越塚先生の背中には、ミズスマシの小早川先生と、アリのモハメッド先生が、ペッター張り付いています。

それは、いきなりシヨーのように始まり、少しずつ青空に吸い込まれていって、始まりと同じく、いきなり終わってしまった一瞬の出来事でした。

了



ひみずの滝 (十四)

田中 徹矢

「悟りを得たか」

滝壺からあがると和尚が言った。話しかけられた途端、それまで無感覚であったのが、ふたたび強烈な寒さを感じる。急いで体をタオルでふき、ジャージを着る。パンツが濡れたままで気持ち悪い。

「うーん、悟ったって言うていいのかわるか。ひとつ言えるのは、自分の可能性に気づけたということです。その気になればこんなことできるんだな、っていう」

和尚がまた笑う。

「それでいい。悟りとは難しいもんなんじゃ。脳内麻薬の作用で悟ったつもりになる坊主もたくさんいる。修行における魔の瞬間じゃ。真の悟りへ到達するには、素直で謙虚な姿勢が大事なじゃよ」

「はい」

「仏に逢っては仏を殺し、祖に逢っては祖を殺す。羅漢に逢っては羅漢を殺せ」

「……？」

「臨済録にある言葉じゃ。先ほども問答したが、『殺す』とは文字通りの意味ではない。真正面から向き合い、徹底的に考え、突き詰め、対象と一体化したうえで、自分なりに乗り越えていくということじゃ。分かるかな」

「和尚さん、僕……」

「おお、ひよっとして、もう大悟に至ったか」

「そうじゃあなくて、凍えて死にそうです。突きの稽古始めたいんですけど、いいですか」

瞬介は寒さに身を縮こめていた。

「ああ、すまん。風邪をひかないようがんばれよ」

和尚はくるりと背中を見せ、凍てつく景色の中、禅道場へ帰っていった。

春になり、中学を卒業すると瞬介は

高松西高校へ通うようになった。瞬介の学力ならばもう少し偏差値が高い高校へ行けるはずだったが、家と五色台に近いという理由でそこを選んだ。実際、西高の運動部は五色台へ走り込みに行く。同じクラスだった穂乃花は、県下一偏差値の高い高松高校に合格し

たので、瞬介とは離ればなれになった。

高校生になっても瞬介はひみずの滝へ通う。中学のときと同じく、部活などには参加しなかった。その代わり学校が終わるとすぐに自宅に戻り、運動着に着替え、五色台へと走る。そして滝に打たれ、一万本突きをこなす。それは高校生になっても変わらない。

また夏が来た。高校生になってはじめての夏休み。午前中は補習授業で、午後になつてからひみずの滝に入る。

愚覚と出会って一年が経った。はじめはきついと思った修行もだいぶさまになってきた。一万本突き終えても意識を保ち、正しい姿勢も維持できる。

今日もやることは同じ。滝行と一万本突き。空手の稽古としては、かなりシンプルだ。受けや蹴りなど、それ以外の稽古はしなくても大丈夫なのか。あらためて愚覚に尋ねた。

「黙ってやればよい」

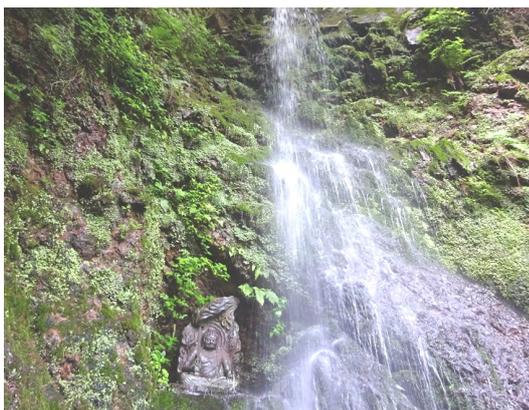
返事もシンプルだった。最初に約束したとおり、それ以上は考えないことにした。

上空では夏の烈日が照りつけていた。服に覆われてないところは、顔も

腕も真っ黒に焼けている。瞬介は五色台を駆けのぼってきたばかりだ。昨年まではそれだけで汗だくになっていたが、今の修行を始めてあまり汗をかかなくなった。真っ黒な肌にうっすらと汗がのるだけ。

服を脱いで滝壺に入った。滝のてっぺんからなだれ落ちる水に打たれる。すぐに心を空っぽにした。冷たいとも息苦しいとも感じない。何も思わない。半眼の目は何も映さない。当初は呼吸を数えて無心に近づこうとした。今では滝に入ると数分で心を空にできる。

(つづく)



戴き物一覧

5月21日〜6月20日

- 一 洋菓子 神奈川県稲毛区 南部 公成様
- 一 ケーキ 香川県木田郡 藤井 繭乃様
- 一 お菓子たくさん 香川県高松市 アイゼン はま街道店様
- 一 洋菓子 香川県丸亀市 浦谷 友章様
- 一 讃岐素麺 香川県観音寺市 匿名 様

ご寄付

5月21日〜6月20日

- 岩手県花巻市 常泉寺 様
- 千葉県稲毛区 南部 公成様
- 宮城県宮城郡 東雲院 様
- 仙台市 昌林寺 様
- 群馬県邑楽郡 明言寺 様
- 群馬県邑楽郡 明言寺内ごぶ観音救援基金様
- 静岡県藤枝市 洞雲寺 様
- 静岡県島田市 普門院 様
- 大阪府天王寺区 吉祥寺 様
- 香川県高松市 榎広瀬住宅総合サービス様
- 香川県高松市 立野 省一様
- 長崎県佐世保市 青眼寺 様

令和3年度(6月20日現在)

ご寄附総額は 八十四万七千円です。

皆様方の温かいご支援に、

心より感謝申し上げます。

禅語紹介



単行本 2010/9  
定価 780円+税

長期化する不況と迷走する政治、自殺者は三万人を突破し、多くの人が生きる意味を失いかけている現代の日本。しかし、そんな時だからこそ、心に響く言葉が求められています。野田大燈和尚は、ニートや不登校児など多くの悩める若者を受け入れ、言葉によって彼らの心を開いてきました。

人生に行き詰まったとき、ふっと禅の精神に立ち返ってみると、意外にも多くのヒントやメッセージが隠されていることが分かります。ページを開けば、厳しくもあたたかい言葉の数々があふれだし、誰もが元気づけられ、前を向く勇氣を受けとることができる一冊です。

野田大燈監修「平常心是道」から、禅語を一部抜粋してお届けします。

単刀直入 (たんとうちよくにゆう)

話下手で営業がうまくいかない

ある民間リサーチ会社のアンケートによると、営業マンに必要な能力の1位は「顧客ニーズリサーチ力」でした。

「コミュニケーションスキル」は8位でしたが、営業職で多い悩みは、「会話が下手」というのもよく聞く話です。徹底した情報収集が最重要とはいえ、会話力向上は最優先なのです。現在では、広く知られるようになった「単刀直入」という言葉ですが、もともとは禅の教えで使われていた言葉です。ひとりで刀を持って敵陣に切り込む様子を表しており、現在では、遠まわしではなく、直接要点を突くことの意味で使われます。

営業において、大切になってくるのは、相手が何を欲しているかを見抜く目と、それに応じた商品やサービスを提供する能力です。そのための顧客ニーズを把握するのに必要となるのが会話です。コミュニケーションスキルの高い人ならば、何気ない会話から徐々に核心に迫り、必要な情報をスムーズに引き出すことができるでしょう。しかし、会話に自信がない場合、そのやり方を真似するのは愚の骨頂。これは、スキルが高いからこそその技であるのです。では、どうすればいいのでしょうか。

答えは「単刀直入」です。下手にテクニックを駆使した会話をしようとすれば、相手に見破られ、かえって不快な気持ちにさせることになるでしょう。ならば、素直に直接聞いてしまうのが得策です。小細工ばかりの人間の中で、素直に真っ直ぐに相手と接すれば、あなたの思いは伝わるはずですよ。

下手な小細工よりも

真っ直ぐに切り込む



「喝破道場」ご支援のお願い

平素より公益財団法人喝破道場の活動にご理解とご支援を賜り誠にありがとうございます。

「禅」を心の拠り所としての活動を展開し、更なる社会貢献を図って参ります。どうぞ本誌のご購読とご寄付によるご支援を賜りたくお願い申し上げます。

ご寄附に対しましては、公益財団法人の活動として租税特別措置法施行令第二十六条の二十八の二第一号に規定する要件を満たしております。「税額控除に係る証明書」が発行されますので、節税としてもご活用下さい。

購読料 年間五、〇〇〇円  
ご寄付 一口五、〇〇〇円  
(一口以上、何口でも結構です)

郵便振替口座 01630・6・9731  
公益財団法人 喝破道場

賛助広告掲載ご協力のお願い

平素は『自立塾』の活動にご高配を賜り御礼申し上げます。

昭和49年に興されたカツパ禅道場。開山の精神は、自立塾に受け継がれています。揺るぎない思いを胸に今後も活動してまいります。一層のご支援ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

ページの下端一枠  
(ヨコ8cm×タテ6cmほど)  
年間12回 60,000円  
受付 087・882・4022

## 六月の日鑑

11 8 薬師講  
イオン幸せの黄色いレシートキヤ  
ンペーン参加 於 高松イオン  
山王小祭

15 高松市委託就労準備支援事業  
(毎週木曜日)  
善通寺市委託就労体験的ボラン  
ティア事業(毎週火・金曜日)

## 七月の予定

15 11 8 薬師講  
イオン幸せの黄色いレシートキヤ  
ンペーン参加 於 高松イオン  
山王小祭

高松市委託就労準備支援事業  
(毎週木曜日)

## 大燈和尚六月の日鑑

1 1 「天眼の巖」台座工事了  
市立「鬼無小学校」でサヌカイ  
陶琴寄贈の打合せ  
1 1 圓通寺「定例坐禅会」  
3 「天眼の巖」前にサヌカイ喚鐘設置  
4 高松市教育長訪問  
9 香川県障害者職業センター訪問  
11 リースにて重機借用(天眼の巖前  
整地)  
15 サヌカイト事業(製造・演奏等)  
の打合せ 於ゼルコバ  
15 サヌカイ陶琴演奏と神技の舞  
於 圓通寺本堂 午後六時より  
15 圓通寺「定例坐禅会」

18 圓通寺定例ライブ発信  
十三時より テーマ「天眼の巖」  
23 圓通寺納骨法要  
25 若竹学園生徒参禅  
30 西条刑務所面接訪問

## 大燈和尚令和七月の予定

6 圓通寺「定例坐禅会」  
8 社会福祉法人「四恩の里」施設  
管理者会議 於 若竹学園  
9 若竹学園生徒参禅  
20 圓通寺「定例坐禅会」

## 第八回 圓通寺のフェイスブック 動画発信のお報せ

日時 七月十八日(日)十三時  
演題 「任に当たって他に譲り難し」  
「野田大燈 フェイスブック」で検索



QRコード



大阪市 山口 近香

## 編集後記

皆さんは「淡竹(ハチク)」をご存知ですか?淡竹は中国原産の竹の一種で、日本では孟宗竹、真竹に次いで各地でよく栽培されている竹です。直径は三から十cm、高さは十から二十mの比較的細い竹です。淡竹の筍の最盛期は五月中旬から六月上旬頃で、孟宗竹のピークが過ぎた頃に出回り始めます。

「破竹の勢い」とは淡竹の成長が早い様を表したことわざだと思っていたのは私だけでしょうか。

六月の初めに「淡竹が沢山あるから採りにこないか?」と電話を頂き皆で採りに行きました。竹林には沢山の淡竹の筍が土から顔を出していました。道場の竹林は孟宗竹なので初めて淡竹の筍を見ました。塾生の皆も初見でした。収穫は道具を使わずとも手や足で折って収穫でき、短時間であつという間に軽トラの荷台がいっぱいになりました。

淡竹の筍は癖がなく柔らかいのが特徴です。取りれたてなら生でも食べられます。今年の孟宗竹の筍はイノシシに食べられ収穫量が少なかつたので淡竹はとでもありがたいです。茹でて冷凍すれば一年中使えます。煮物や味噌汁、筍ご飯などどんな料理でもとつても美味しいです。淡竹いらんか?のお声がけに感謝です。

— 大然後記 —

## 児童施設で働いてみませんか

職 種：管理者候補 医師(精神科医)  
心理 保育士 児童指導員 事務員  
勤務先：四恩の里 本部  
児童心理治療施設 若竹学園  
児童養護施設 亀山学園  
自立援助ホーム なごみハウス圓



連絡先：香川県高松市中山町1501-192  
社会福祉法人四恩の里 本部 ☎087-816-1380  
メールアドレス: 4on@4on.or.jp ホームページ: http://4on.or.jp